

様式第15号（第19条関係）

平成26年3月20日

熊本市長 幸山 政史様

住所 熊本市北区

団体名 うえき自然塾

代表者 職名 塾長 氏名 野中 昶

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成25年4月1日付け指令（市協）第3-5号により、平成25年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

野外体験を通してこども達に生涯にわたってたくましく生きる力の基礎を育成する活動

2 助成事業の実施期間

平成25年4月1日～平成26年3月15日

3 助成事業の内容

平成25年4月から平成26年3月まで主催事業を9回、地域施設・団体の要請に応じた事業4回、それぞれの事業のための整備事業等を実施し、子どもたちの生きる力の育成のための事業を実施した。

4 事業の成果

うえき自然塾がスタートして7年。活動内容がさらに広範囲の地域の方たちに伝わり、参加者層にも定着と広がりがみられる。それとともに私たちの活動への理解も増し、ボランティア・スタッフも徐々に増加しつつある。

毎回行事の終わりに行う「今日の活動を振り返って」の中で、子どもたちの喜びや感動の声も多く聞けるようになってきた。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書（様式16号）

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

別紙(1)

事業報告書

平成25年度	
事業名	野外体験を通して子ども達に生涯にわたってたくましく生きる力の基礎を育成する活動
目的	自然環境に触れるなど実体験の機会が得がたい日常生活の中で、子ども達に里山の自然環境の中で仲間とともに様々な体験活動をしてもらったりとした時間・空間・時間（じんかん）の3要素を継続的に体験することで、子ども達には将来にわたってたくましく生きる素地を身につけさせたい。 そのような思いを持った仲間と平成19年度から本活動をほぼ月1回のペースで実施し、定着しつつある。
事業期間	平成25年4月～平成26年3月
具体的な事業内容	年 月 日 活動内容 参加者数等
	25 4 10 4月行事のための準備作業 4人
	25 4 14 4月行事「タケノコ掘り」 66人
	25 4 29 コンボ等使って整地作業 6人
	25 5 22 5月行事のための事前作業 6人
	25 5 26 5月行事「マコモ植え」 22人
	25 6 23 6月行事のための事前作業 6人
	25 7 10 田原小1年生体験学習 23人
	25 7 14 7月行事のための事前作業 3人
	25 7 21 7月行事「水辺の生き物探し」 87人
	25 7 24 シンボルタワー解体作業 10人
	25 8 10 8月行事のための事前作業 7人
	25 8 18 8月行事「そうめん流し」 40人
	25 9 19 9月行事のための事前作業 6人
	25 9 22 9月行事「栗拾いと飯ごう炊飯」 103人
	25 9 24 イノシシ避けネットの下準備 4人
	25 9 26 イノシシ避けネット張り作業 5人
	25 10 4 自然塾内整備作業 6人
	25 10 12 10月行事のための事前作業 1人
	25 10 13 10月行事「マコモダケとピザ」 50人
	25 10 22 自然塾内整備作業 7人
	25 10 27 田原小ウオークラリーに協力 110人
	25 11 7 地区内子ども園児の自然体験 22人
	25 11 12 11月行事のための事前作業等 7人
	25 11 17 11月行事「ナンを作ろう」 75人
	25 12 21 12月行事のための事前作業 8人

	25 12 23 12月行事「ミニ門松作り」 75人
	26 1 21 田原小野外活動クラブ活動 22人
	26 2 17 2月行事のための事前作業 5人
	26 2 23 2月行事「シイタケのコマ打ち」 42人
	※うえき自然塾主催事業は原則として9:00~14:00までとし、天候等に応じて変更することもある。
	今年度は、地域の小学校や子ども園の自然体験活動もあり、活動の広がりや充実も進んできた。
活動場所	うえき自然塾（熊本市北区植木町田原小校区にある里山）
期待される効果	1 自然とのふれあいの中で、里山の自然の持つ豊かさ、美しさ、楽しさを具体的に体感できる。 2 竹を切ったり、削ったり、ピザやナンを作ったり、椎茸を採ったり、火をおこしたりなど日常生活では体験することの少ない活動を行うことで、鋸の扱い方、小刀の使い方、飯盒でのご飯の炊き方などの知恵を体得できる。 3 同年代に限らず様々な人々との出会いと協働をとおして人としての優しさや最後までやり遂げるたくましさなどを身につけることができる。 4 これまで高齢化が進み荒れつつある自然が整備されると同時に地域の活性化にも効果が期待できる。 5 毎回終わりの会では、参加者に感想発表をしていただき、その中で子どもたちの発表の内容や声の大きさなど向上してきた。 6 本基金の紹介などもあり、問い合わせも増加してきた。 ※ 以上のような成果により、ボランティアに携わっている私たちも活動への意欲が増してきている。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳	
収 入	自己資金	27,000	うえき自然塾年度会員入会金 1,000円×27家族	
		102,900	行事参加費 9回分	
		45,988	自己資金より	
	熊本市市民公益活動支援助成金	100,000	当該事業に対する助成希望額	
	その他の補助金・助成金	30,000	グリーンコープ助成金より	
	寄付金・協賛金	10,000	個人からの寄付金	
	その他	0		
合計		315,888		
支 出	助成対象経費	報償費	14,000	各種作業謝礼（玉木伐採、竈制作）
		役務費	36,260	郵送料、損害保険料（年間一括契約）
		使用料・賃借料	10,000	ユンボ使用料
		備品費・消耗品費	236,470	鋸、刈払い刃、チェーンソーの刃、杭、イノシシ防御ネット、波板、電設移転費、施設補修費、混合油、食材ほか
		その他	1,840	トイレ汲み取り料
		小計	298,570	
	助成対象外経費	飲食費	17,318	準備作業時の弁当と飲み物代
		小計	17,318	
合計		315,888		